

抗 Rad51 抗体、ニワトリポリクローナル (IgY)

商品コード	70-005
容量	100 µg
保存	-20°C
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	精製 IgY 95% 以上の純度 (図 1).
抗原	高純度の全長のヒト Rad51 タンパク質 (バイオアカデミア 10-001 Rad51 タンパク質)
アイソタイプ	ニワトリ IgY
反応性	ヒト、欠歯類、ニワトリ、カエル
特記事項	N/A
アプリケーション	<p>1) ウェスタンブロッティング (1/1,000-1/5000 希釈)</p> <p>2) 免疫沈降実験によって、種々のタンパク質との相互作用同定出来る。</p> <p>3) Chromatin-Immunoprecipitation (ChIP)</p> <p>4) 免疫染色 (1/100-1/1,000 希釈)</p> <p>(ニワトリの IgY 抗体の方が哺乳類の IgG 抗体よりバックグラウンドが低い。)</p>
背景	<p>ヒトの Rad51 タンパク質は大腸菌の RecA タンパク質や酵母 Rad51 タンパク質の機能的及び構造的ホモログであって、相同的組換え及び組換え修復において中心的な役割を果たし、相同な DNA 鎖の交換反応を促進する機能をもっている。Rad51 のパラログとして、Dmc1, Rad51B, Rad51C, Rad51D, XRCC2, XRCC3 が知られておりこれ等は Rad51 や Rad52 と複合体を形成して、組換え反応に関与している。更にヒト Rad51 タンパク質は乳ガン原因タンパク質 BRACA1, BRACA2 や癌抑制タンパク質として有名な P53 とも結合する事が知られていて、ゲノムの情報の安定的維持に重要な役割を果たしている(1)。</p>
Data Link	UniProtKB Q06609 (RAD51_HUMAN)
<p>※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。</p>	

画像: 70-005 抗 Rad51 抗体、ニワトリポリクローナル(IgY)

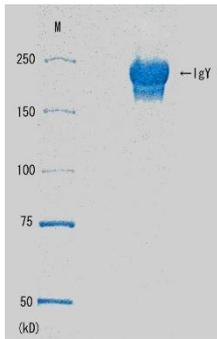


図 1 精製 IgY の SDS-PAGE 解析(2ME 無しのサンプルバッファー使用)

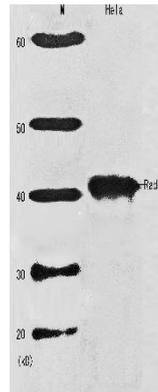


図 2 HeLa 細胞中の Rad51 タンパク質のウエスタンブロット法による検出

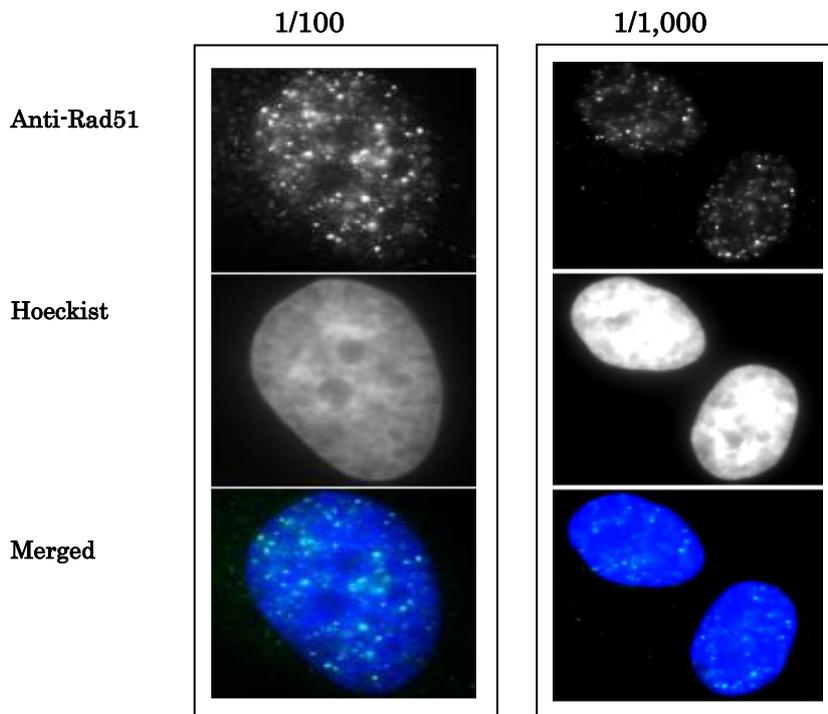


図 3. 抗 Rad51 抗体による X 線照射したヒト線維芽細胞 GM0637 中に形成された Rad51 のフォーカスの検出。

- 1) 細胞を 2 Gy の X 線で照射後 1 時間培養し、4 % PA で 10 分間固定し、PBS で 3 回洗浄した。
- 2) 0.5% Triton で 5 分間透過性処理した後、3 回 PBS で洗浄した。
- 3) 1/100 倍 (左図) または 1/1,000 (右図) に希釈した抗 Rad51 抗体で 30 分間 37°C 反応させた後 PBS で 3 回洗浄した。
- 4) 2 次抗体は Alexa488 コンジュゲートヤギ抗ニワトリ IgY を 1/5,000 希釈で用いた。

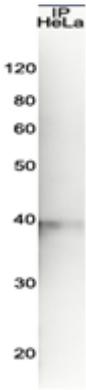


図4 抗 Rad51 抗体による免疫沈降

Hela 細胞粗抽出液, 20 μ g, より Sepharose 4B に結合した抗 Rad51 IgY を用いて免疫沈降した。溶出液をウサギ抗 Rad51 抗体 (バイオアカデミア 70-012) を用いてウエスタンブロットを行った。

文献: 本抗体は以下の論文で使用された。

Nakada S et al. RNF8 regulates assembly of RAD51 at DNA double-strand breaks in the absence of BRCA1 and 53BP1. Cancer Res. 2012 Oct 1;72(19):4974-83. PMID: [22865450](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/22865450/).IF (human, mouse)

関連製品:

- 10-001 Rad51 タンパク質 (ヒト)
- 10-003 Rad52 タンパク質 (ヒト)
- 70-001 抗 Rad51 抗体, ウサギ抗血清
- 70-012 抗 Rad51 抗体, ウサギポリクローナル、ChIP グレイド
- 70-015 抗 Rad52 抗体,, ウサギポリクローナル